

足取りも軽やかに健康づくり

都城志布志道路ウォーキング大会

都城志布志道路の一部開通を記念し、五十町・梅北インターチェンジ間約6キロを歩くウォーキング大会が4月17日、開催されました。自動車専用道路のため歩けるのは最初で最後とあり、市内外から約500人が参加。思い思いの速さで歩きながらポイントでスタンプを押したり、工事の際に出土した土器などの説明書きを読んだりしながら健康づくりに汗を流していました。夫婦で参加した税所香代子さん（蓑原町）は「距離が長いかなと思いましたが、気持ちよく歩きました」と話していました。



新緑到来、全力トライ

都城ラグビーフェスタ

南九州のラグビー愛好家らが試合を通じて交流を図る都城ラグビーフェスタが4月23日、母智丘関之尾公園多目的広場で開催されました。市内外の未就学児から60代のベテランまで14団体が参加し、新緑の中それぞれのクラスで汗を流しました。未就学児のクラスでは、ちびっこラグビーが奮闘。かわいらしい姿に大きな声援が送られました。都城ラグビースクール主将の滝本あいみさん（勝岡小6年）は「相手が強くて負けてしまったけれど楽しくやれた」と笑顔を見せていました。



森林浴でリフレッシュ

笛水ウォーク

都城盆地博覧会（ボンパク）のメニューの一つである笛水ウォークが4月29日、高崎町笛水地区で開催されました。市内外から約60人が参加。参加者らは、地元の人々の案内で山道などを歩き、竹の子や山菜などを取りながら春を満喫しました。また、昼食には竹の器に盛り付けられたがねや手打ちそばなどが振る舞われ、地域と自然のもてなしを味わいました。家族で参加した池田博隆君（清武小3年）は「たくさんわらびを取ったのでお母さんに料理してもらいます」と話していました。



島津の教えを体験しよう

郷中教育体験講座

高校生以下の子どもたちを対象に旧薩摩藩の青少年教育「郷中教育」を体験する講座の開校式が5月1日、都城島津邸で開催されました。NPO法人都城歴史と文化のまちづくり会議が初めて企画。子どもの健全な育成を図ることを目的に、論語の素読や島津いろは歌の学習、自顕流の稽古など18回の講座が予定されています。歴史好きな父親の勧めで参加した倉山唯さん（山之口中2年）は、「薩摩の教えを学び、互いに励み合い助け合いながら、心身を鍛えたい」と意気込んでいました。



ちびっこ武者イザ出陣

都城島津邸こどもの日イベント

都城島津邸で5月5日のこどもの日に合わせて、よろいかぶとの試着体験が行われました。この日用意されたよろいかぶと実は厚紙製。その精巧な出来栄えに訪れた人は目を丸くしていました。参加した48人の豆武者たちは敷地内にある社に向かって「負けるな」「うそをつくな」「弱いものいじめるな」という薩摩の教えを大きな声で唱えた後、記念撮影を行いました。弟の丞之介君と参加した安藤淳之介君(大王小5年)は「少し重かったけど、本物みたいだった」と笑顔を見せていました。



自然の力で動くおもちゃ作り

ソーラー工作教室(自然科学講座)

太陽の光で動くおもちゃを作るソーラー工作教室が5月5日、高崎町のたばな天文台で開催されました。参加した13組の親子らは、太陽パネル付きのカモメやカエルのおもちゃを製作。それぞれの部品を組み立ててもモーターが動かずに何度も組み立て直したり、子どもの作業を見かねた親と一緒に作製したりと悪戦苦闘していました。家族で参加していた山領大志君(宮村小1年)は「本物のカモメみたいに羽根が動いて飛んでいきそうだった」と笑顔で話していました。



汗いっぱい愛情いっぱい

親と子のスポーツ教室

親と子のスポーツ教室前期の部の開講式が5月11日、早水公園体育文化センターで行われました。子育てしている親子のつながりや、親同士の交流を持ってもらうと開催されるもので、前期、後期(9月以降に募集)それぞれ約40組の親子が参加します。参加した親子らは、音楽のリズムに合わせて体操をしたり、風船を使って遊んだりして汗を流していました。前田悦子さん(郡元町)は「ママ友もできるし、体を動かすので親の方も楽しめます」と笑顔を見せていました。



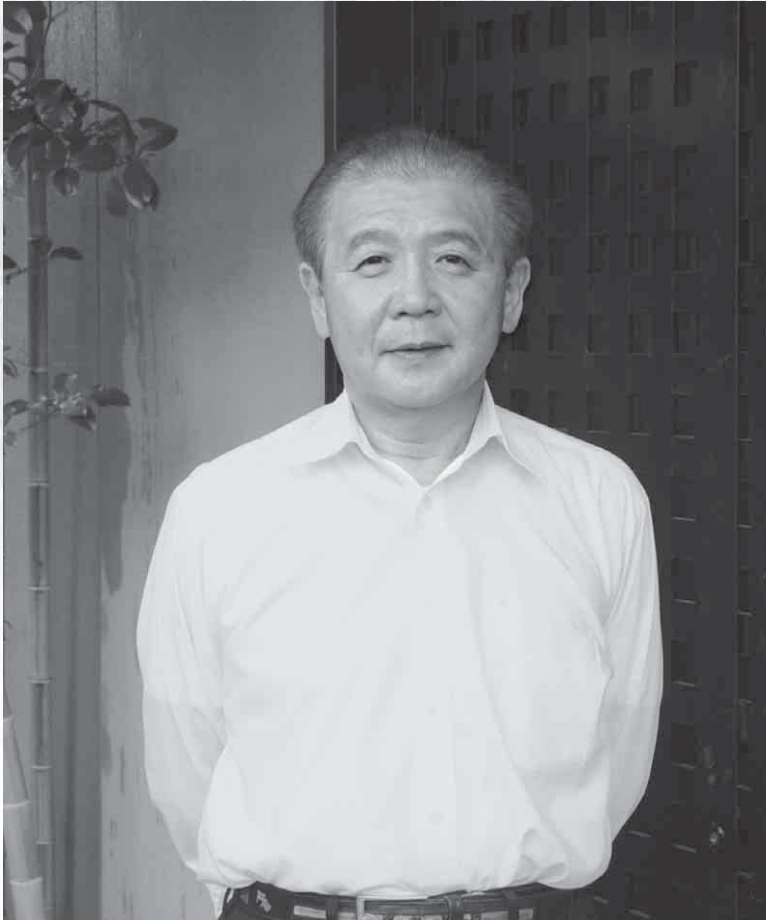
手作りピザと薫製に舌鼓

ピザ焼きと薫製づくり体験プログラム

村づくり奮闘する石井和郎さん宅(安久町)で5月14日、ピザ焼きと薫製作りの都城盆地博覧会(ボンパク)体験プログラムが開催されました。市内外からの参加者14人は、石井さん家族と正応寺集落の人たちの指導の下、ピザ焼きと薫製作りを体験。しょうゆ風味の和風ピザなど趣向を凝らしたピザ作りに挑戦しました。夫婦で参加した山松武博さん(天神町)は、「体験型プログラムに興味があり、一昨年に続き参加しました。ピザもおいしく焼けて大満足です」と笑顔で話していました。



人の風景



都城に新たな名物を！

食にこだわる地域おこし

都城ご当地グルメ推進協議会会長

天水 てんみず 富士雄さん

グルメ大会や物産展の開催などが盛り上がりを見せる中、本市でも「都城の名物となるような新たなメニューを作ろう」と奮闘中の都城ご当地グルメ推進協議会。その中心的役割を担っているのが、会長の天水富士雄さん（郡元一丁目・56歳）です。

天水さんは、市内で飲食店を経営する傍ら、「都城を食で盛り上げたい」との思いで、同協議会のメンバーと共にメニューの開発を決意。6月末の各メンバーの経営する店での提供開始に向け、試作品作りや試食会の開催などで休みの取れない毎日が続いています。

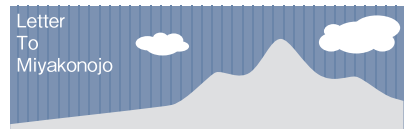
今回、開発を目指すのは、本市が国内有数の生産量を誇る牛肉や豚肉、鶏肉を使ったランチ「都城焼き肉三昧炭火定食」。女性客を主な客層に想定した彩りと器にもこだわったメニューは、食材をはじめ竹皮などの材料も地場のものを用いています。その食べ方は、

食べる人自らが都城焼の卓上しちりんで風味豊かに焼き上げ、店ごとに用意されたオリジナルのつけダレで味わうものです。

メニュー開発で一番の問題となったのは煙。「店では必ずしも皆さんが同じものを楽しむ訳ではないので、隣に座る人が煙や臭いで不快な思いをしないよう食材の選別や調理方法にも工夫が必要」と、使用する食材の部位と焼き方の順番などについて吟味を重ねた結果、問題を克服。食事を楽しみに店を訪れる人全てに気遣います。

今回のメニュー開発では、協議会のメンバー一人一人が、熱い思いで見聞やアイデアを出し合い、納得のいくものができたと自信をのぞかせる天水さん。

「一過性のものにならないよう、今後も協議会で定例の勉強会を続け新たなメニューを作り、提供することで地域を盛り上げたい」とさらなる目標を見据えています。



都城讃歌

【ふるさとさん ありがとう】

上野 芽実さん



上野 芽実

◎プロフィール

平成2年3月26日生まれ。
父親の手ほどきで、10歳からギターを始め、数々のコンクールで賞を獲得。宮崎学園高等学校音楽科卒業後、平成20年よりフランスのストラスブル国立音楽院

18年間過ごしてきた都城を出て、ストラスブルの国立音楽院に学び始めて4年目に入りました。ここに移り住んだ当初、覚悟していたとはいえあまりにもかけ離れた環境に「やばいかも…」なんてことも考えましたが、もともと楽天的な性格が幸いしたのか、言葉に不自由を覚えることが少なくなつた今では、厳しいけれど楽しい日々を過ごしています。

こちらには、私が育つたのとは違う時間の中にあるよく分からない世界ですけど、私は旺盛な好奇心と、敬意をもって、そういうものに向かつていきたいと思っています。もつとも日本のことを聞かれたときに、よく分らないというのは考えものだと反省しています。歴史や地理を勉強し直して、語るべき自分の言葉を捜したいと思っています。フランスは写楽、北斎などの浮世絵、現代では漫画や工業製品などを通して日本に対する関心がとても高い国です。今度の東日本大震災にも、お見舞いや励ましの言葉と共に家族・友だちの安否をたくさんの人たちが気遣ってくれました。そんなときは日本人の代表という気持ちで心からお礼を言います。そして、私とは違う人たちだけでなく、根源的に一緒なんだと元気づけられます。

この夏、都城に帰省します。ふるさとさん、ありがとう！

学校へ行こう

今町小学校

今町8923番地 ☎39-0776



◎学校のシンボル

「榎の木」

とても大きく、春は新入生を迎え、夏は木陰を作り、秋はどんぐりをプレゼントしてくれます。冬は、寒さに負けない事を教えてくれます。

「みんなの大好きな学校」

- 6年 宮本 弥^み咲^{さき}
- 6年 中馬 裕紀子
- 6年 平川 満里奈
- 6年 平川 真衣^{まゐ}
- 6年 磯崎 愛^{まな}美^み

本校は、全校児童121人の明るく、元気いっぱい为学校です。みんな「かしこく、やさしく、げんきよく」の校訓の下、仲良く勉強しています。

次に元気なあいさつです。みんなであいさつを頑張っています。学校だけではなく、地域の皆さんにもあいさつをするようにしています。また、掃除が上手で掃除の時間には、みんなが一生懸命隅々まで掃除をしています。

本校には「俵踊り」という伝統があります。地域に伝わる「八反俵踊り」を5・6年生が練習をして運動会で発表していますが、みんなとても上手です。このような素晴らしい伝統行事を大切にしていきたいです。

これからも全校児童で協力し、いつも仲良く元気な今町小でありたいと思います。